

# 一 般 質 問 通 告 書

平成31年2月13日

前  
午 9時20分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成31年2月13日

湖西市議会議長 二橋益良様



湖西市議会議員 渡辺 貢<sup>(印)</sup>

質問方式 (○を付ける)		<input type="checkbox"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題	
1	消防団の充実について	
2	これからの上水道経営について	
3	最適な生活排水対策の推進について	
4		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	消防団の充実について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>消防団員数は、概ね定数を充足している状況だが、各分団に於いては団員の確保に大変苦勞をしており、分団エリア内に居住していない団員の加入も得たり、後任が見つからず勤続が長期になるなどの悩みを抱えていると伺っている。</p> <p>消防団の困りごとは地域の悩みであり、自治会を中心とした地域ぐるみで考えなければならない課題とは思いますが、同時に行政としてもこの問題を重く受けて止めなければならないと思う。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>南海トラフ地震に備え、消防団の役割は極めて重要であり、団員確保は勿論、その充実強化についての考えを伺う。</p> <p>(質問事項)</p> <p>&lt;消防団の現状について&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 消防団員の充足状況と要員動員力の現状は。 (分団エリア外の在住団員数、被雇用者団員の比率)</li> <li>2. 消防団員の新規加入方法と入団の条件は。</li> <li>3. 消防団員の団員の年間の出席行事・訓練・火災出動等の日数など活動内容について伺う。</li> <li>4. 新規消防団員確保のための市の取り組みについて伺う。</li> <li>5. 消防団員処遇改善や優遇施策への取り組みは。 (湖西市消防団応援の店の効果とその評価)</li> </ol> <p>&lt;消防団を中核とした地域防災力充実強化に関する法律の取組状況&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>6. 第10条「公務員の消防団員との兼職に関する特例」規定に関する対応状況は。</li> <li>7. 第12条「大学等との協力」規定に沿った、学生団員確保への取組み状況は。</li> <li>8. 第14条「大規模災害における救助活動や避難誘導などに広がりを見せるため、消防団の装備の充実、改善が必要」との規定への対応状況は。</li> </ol> <p>&lt;機能別消防団員及び分団について&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>9. 本市に於ける機能別消防団員及び分団への考えについて伺う。</li> </ol>	

番号	主 題
2	これからの上水道経営について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>人口減少と節水の浸透により事業収入が減少する中で、上水道施設・設備の老朽化に伴う更新事業が将来集中することが見込まれています。</p> <p>このことは、本市に限らず多くの自治体共通の悩みとされ、将来の利用料金への負担増は避けられないと言われており、水需要予測と水運用計画、施設ごとのコスト比較を考えたダウンサイジング（コスト縮減を目指した効率化・規模縮小）に取り組む自治体もあります。</p> <p>このような背景を受け、将来にわたって健全な水道事業を維持していくために、平成25年度から平成39年度までの実現方策を描いた「湖西市水道ビジョン」が策定されていますが、近隣自治体での民間委託方式についての話題も耳にする中で、今後の本市事業経営の厳しさとその対応策についての考え方を理解しておきたい。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>「湖西市水道ビジョン」の計画期間の1/3を経過した、現段階における進捗評価と今後の事業経営の見通し、更には法定耐用年数の1.5倍以上の老朽化資産が全資産の過半を占める、平成40年代の対応についての考えを伺う。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「湖西市水道ビジョン」の進捗評価と今後の事業経営の見通しは。</li> <li>2. 事業運営にとって、技術の向上と人材の育成が求められていますが、その取組み状況は。</li> <li>3. 平成28年度策定のアセットマネジメント（水道事業長期更新計画）の概要、特に法定耐用年数の1.5倍以上の老朽化資産が全資産の過半を占める平成40年代に備えた主な課題とその対応策としての考えは。</li> </ol>	

番号	主 題
3	最適な生活排水対策の推進について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>平成 28 年度版の一般廃棄物処理実態調査結果によれば、湖西市の汚水処理人口比率は、公共下水道 36.5%、合併浄化槽 31.8%となっている。残り約 3 割が未処理排水人口であるが、この中にはみなし（単独）浄化槽人口が 23.3%もある。</p> <p>平成 29 年度決算に於ける合併浄化槽設置補助金 55 百万円の件数内訳を見ると、新設が 3/4、転換が 1/4 となっている。</p> <p>国においては、来年度予算案として、単独浄化槽からの転換を促すためのインセンティブとして宅内配管工事費の内、30 万円を限度に新たに補助をする予定と伺った。</p> <p>人口密集地が少ない地方に於いては、公共下水道の 1 戸当たりの設置維持管理コストが高くなりがちであり、浄化槽の処理能力向上や財政負担も考慮した、本市にとって最適な生活排水推進策を確認したい。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>浜名湖や河川の水質浄化を目指した施策の充実が求められている中で、本市にとって最適な生活排水対策を推進していくため。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市内の主な地域ごとに見る最適な生活排水対策とは、どんな内容で且つその進め方はどのように考えているか。</li> <li>2. 単独浄化槽からの転換を促すための取組みについての考えは。</li> </ol>	

# 一 般 質 問 通 告 書

平成31年 2月13日

前  
年9時5分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成31年 2月13日

湖西市議会議長 二橋 益良 様

湖西市議会議員 土屋 和幸



質問方式 (○を付ける)		一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題	
1	人口減少社会に向けての定住人口増対策について	
2		
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	人口減少社会に向けての定住人口増対策について
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>現在では、湖西市に限らず人口減少社会に向けてそれぞれの自治体において、人口の確保にむけて政策を立て、突き進んでいます。こうした自治体間の競争に勝ち抜くには、市を挙げて全力で取り組んでいかなければなりません。湖西市は、市内の企業に市外から働きにくる人口が多く、昼夜間人口の差は約1万人とされています。また、今後市においては、浜名湖西岸土地区画整理事業による工業団地の整備をし、約1,500人程度の従業員を持つ新工場が建てられると伺っております。</p> <p>このような状況で、市内に定住人口を増やすことが市最大の課題であると考え、以下のことをお伺いいたします。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>定住人口増のための居住地をいかに提供していくか、市の姿勢を確認するため。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 湖西市において、住宅を新築したいという要望とそれに対する住宅地は足りているか把握していますか。</li> <li>2. 市内に住みたくても住めないのか、また違う理由で住まないのか、市内企業に勤める従業員等へ聞き取りをするなど調査をしているか。</li> <li>3. 平成29年3月定例会で建設環境委員会より「住宅用地の確保について 区域区分の廃止と、湖西市の実情に合わせた新たな都市計画の手法について検討すること」と提言されました。住宅地確保のために線引きの変更は難しいと思われませんが、この提言を受けて市としての動きはありますか。</li> <li>4. 市長の掲げる「職住近接、定住人口増加」が掛け声倒れになってしまっていると考えます。現在市で行っている対策は如何か伺います。</li> </ol>	

# 一 般 質 問 通 告 書

2019年 2月13日

前  
午 9 時 30 分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

2019年 2月13日

湖西市議会議長 二橋 益良 様



湖西市議会議員 竹内祐子



質問方式 (○を付ける)		<input type="checkbox"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題	
1	児童虐待防止対策について	
2		
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	児童虐待防止対策について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>昨年の9月定例会において「児童虐待について」一般質問をしています。今、また千葉県で小学4年の少女が自宅浴室で死亡していた事件は、児童虐待ではなかったかとみられています。</p> <p>学校アンケートの回答では少女が「虐待」を訴えていたともいいます。母親も「暴行を止めても無駄だと思った。どうしようもなかった。」という趣旨の供述をしていました。</p> <p>湖西市は、企業のまちで他県からの転入や外国人の方も増加しています。それらの方々は、地域活動への参加もばらつきがあり、コミュニティの希薄化は誰もが痛感するところです。9月定例会で質問をしたことをふまえながら児童虐待防止についての取り組みを強化していきたいと考えます。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>児童虐待防止と健やかな児童の成長と子育て支援につなげるため</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童虐待予防について、学校側が保護者に対して行っていることを伺う。</li> <li>2. 学校では、いじめや虐待についてのアンケート調査を行っていると思うが、それはどのような方法で行われ、その情報はどのように共有されているか。また、管理方法を伺う。</li> <li>3. 千葉県小学4年生の死亡事件では、父親が学校アンケートのコピーの提示を強要し、それを渡していたことが問題となっています。 同様の案件が発生した場合、市はどのように対応するのか、教育長の考えを伺う。</li> <li>4. 昨年9月の一般質問で「3歳から5歳児の幼稚園や保育園に通っていない子どもが30人いる」、「その理由を調査する」ということでしたので、その結果を伺う。</li> </ol>	



5. 「養育支援訪問事業」について、幼稚園や保育園に通っていない子どもに対して、家庭訪問や必要に応じてヘルプサービスを行うなど、ある特定の事業に特化して実施することも有効策だと考えるが、今後市はこの事業をどのように展開していく予定なのか考えを伺う。
6. 行き過ぎた「しつけ」は虐待であり、「しつけ」を名目とした不適切な育児が行われないように、保護者に対して乳幼児健診や幼稚園、学校等の教育現場での周知、啓発が今まで以上に必要と考えるが、所見を伺う。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

# 一 般 質 問 通 告 書

2019年 2月 22日

前  
午 11時35分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

2019年 2月22日



湖西市議会議長 二橋 益良 様

湖西市議会議員竹内 祐子



質問方式 (○を付ける)	
	<input checked="" type="radio"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
2	施政方針について

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
2	施政方針について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>施政方針説明において「職『住』近接」、定住の促進を強調されていた。市長は湖西市の強みを生かして定住促進に力を注いでいるとみた。</p> <p>しかし、人口減少が進む中、人口増に向けての事業は大変難しいものがあり、財政状況も厳しいという説明であった。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>「職『住』近接」推進のため</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 昼夜間人口を減らすためには、まず、市外に住んでいる市職員に「職『住』近接」を呼びかけることが必要だと考えるが、どうか。</li> <li>2. 「住もっか「こさい」定住促進奨励金」として最大100万円の助成を行うとしているが、定住してもらえる見込みをどのように考え、実施することとしたのか。</li> <li>3. 人口増の施策には、結婚につながっていくための若者の出会いや交流の場をつくることが重要と考える。そのような場を若手職員の力を借りて企画してはどうか。</li> </ol>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

# 一 般 質 問 通 告 書

平成 31 年 2 月 13 日

前  
午 9 時 40 分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成 31 年 2 月 13 日

湖西市議会議長 二橋 益良 様



湖西市議会議員 牧野 考二



質問方式 (○を付ける)		一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題	
1	浜名湖西岸土地区画整理事業について	
2	湖西市の商業・農業・工業について	
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	浜名湖西岸土地区画整理事業について
質 問 の 要 旨	
<p data-bbox="228 533 724 568">(質問しようとする背景や経緯)</p> <p data-bbox="209 584 1356 943">本事業につきましては、平成19年に当初160haと言う規模で進めようとしたのですが、規模の大きさから進出企業を担保できなかったこと、またリーマンショック等による景気の後退により、一時足踏みをしておりました。しかし平成23年に発生しました東日本大震災の影響により、低い土地に立地する企業から高台移転へのニーズを受け、平成27年9月に新たに50haの規模で本事業を進めるよう設立準備会を発足し、湖西市の技術支援のもと、推進してきました。</p> <p data-bbox="209 958 1382 1585">湖西市においても非常に大きな事業であり、今後の期待も大きい物が有ります。現在計画し準備している都市計画道路、大倉戸茶屋松線の西側に50haと言うと東京ドーム10個分に相当する広さで、工業団地として造成されます。この広い土地を1社で使用していただける話で昨年協定締結ができました。今浜松市第三都田地区工業団地が、14区画造成され1区画11haから0.1haで販売をしておりますが、まだ完売ではないようです。その点1社ですべてを使用していただけることは、大変ありがたい事だと思います。浜松の議員とお話しした時「湖西はいいな」なんて言われました。ここまで来るには、多くの方々にご尽力いただいたおかげと感謝すると同時に190人余の地権者の皆様の仮の同意があつてこそだと思います。今後スムーズに進んで行くことを願っております。</p> <p data-bbox="228 1765 437 1800">(質問の目的)</p> <p data-bbox="209 1816 1356 2011">湖西市において年々人口減少が大きな問題になっていきます。日本を代表する企業が進出してくれることにより、雇用も増え定住人口もふえることそして経済の発展も期待できることからこの事業を成功させ夢と希望の持てる市にしたいため。</p>	

(質問事項)

1. 事業をスタートしてから現在までの進捗状況、及び現場の概要説明をお願いします。
2. 完成までの計画に対して今現在の進捗状況は。(予定どおり進んでいる・予定より遅れている等)
3. 今後事業を進めて行く上で特に課題であると考えられることがありましたら教えてください。
4. 今後の予定を(大まかで良いので)教えてください。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	湖西市の商業・農業・工業について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>新居町商店街・鷺津商店街・新所原商店街のどこの地区の商店街の店もシャッターが下りていて人通りが少ない、これで良いだろうかと不安を感じている。</p> <p>パイロット事業で造られた農地に対して、どこの地区を見ても耕作放棄地が多い。耕作放棄地は地主の管理になる、しかし管理の出来る人は良いけれども地主が地元にいない、また高齢化して管理のできない地主が増えて行くように思う。今後の耕作放棄地の利用をどの様に考えているか。</p> <p>事業承継の問題は早めに取り組まないと、事業者が取り返しのつかないことになると思う。湖西市の企業は自動車の部品を加工している工場が多い、今後電気自動車に変わって行くと部品点数が減る、当然仕事が少なくなっていく、その対策を考えて行くべきではないか。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>商業・農業・工業に対して早く手を打って活性化してほしい。</p> <p>(質問事項)</p> <p>[I 商業についてお尋ねします]</p> <p>1. 湖西市は東海道線の駅が3カ所あり、各駅の周りには駅前商店街が有ります。またその他にも各地区に商店街が有ります。以前にぎわっていた商店街も、年々シャッターが閉まっている店が増えている様に思います。湖西市の統計によると、平成19年には小売業の方が508事業所、平成24年</p>	

には371事業所、平成26年には378事業所、平成28年には381事業所あります。駅周辺においてどの時間帯を見ても電車の乗降時のみ人の動きがある。その他の時は人影はまばらである。市として現状をどの様に把握し、考えて居るのか。

2. 今まで商工会を頼りに来ている様に見えるが、市として各商店街において集客等今後どの様にしていくのですか。

## [II 農業について]

3. 農林水産省の「2015年農林業センサス」によれば農業就業人口が1990年には482万人、2010年には260万2000人、2015年には209万7000人と四半世紀を経て半数以下になっている。農業就業人口が大きく減った要因は、戦後の日本の農業を引っ張ってきた昭和一桁生まれの人々が引退したこと。すなわち高齢化である。農地面積は、1961年には608万6000ヘクタールを数えたが2015年には449万6000ヘクタールまでへっている。2025年には420万ヘクタールに落ち込むと推計される。農業人口も減り、農業耕作地も減ったのでは収穫量も当然減ってきます。

日本の人口は減って行くが、内閣府の2017年報告書によると世界の人口は2015年には73億5000万人、2030年には85億人、国連推計では2050年には112億2000万人になるのではと予測している。当然食料不足になり日本が世界の食料争奪戦に巻き込まれることは避けられない。世界からのしわ寄せが日本そして湖西市にも押し寄せてくるのではないかと思う。パイロット事業による耕作地が市内各所に有ります。農業人口の減少から耕作放棄地が増えております。地主も管理できない土地も増えている現在対策等はどの様に考えて居るのでしょうか。または食料不足になると予測されている点について10年、20年先の耕作放棄地の活用についての考えを教えてください。



[Ⅲ 中小企業の中の工業部門の現状と将来について]

4. 昨年事業承継問題について商工会で講習会が開催されましたが各企業の反応と進捗状況はどの様に把握しておりますか。
5. 平成30年度税制改正され中小企業の事業承継を力強く後押しする為、事業承継の際の贈与税・相続税の負担を軽減する「事業承継税制」を今後10年間に限って大きく拡充します。そして今後5年以内に承継計画を提出し、10年以内に実際に承継を行う者を支援します。と有りますが実行するには専門家が必要ですが、初歩の段階での相談に対しての対応はどの様に考えて居るのか。
6. テクノフェアを平成29年度まで商工会を中心に毎年開催していましたが、今後商工会の主導としてではなく市が主導として開催計画はあるか。
7. 今現在各工場では多くの仕事を持っている。しかし人手不足で困っているのも事実です。  
今後世界的に電気自動車が主力になって行きます。連日新聞をにぎわしているのが、世界各地でのバッテリーの生産工場の増設あるいは、新設をどの様にするかとしのぎを削っております。各自動車メーカーが小さく・そして軽量で安全な従来の鉛電池やニッケル水素電池に変わって、小型で蓄電容量の多いリチウムイオン電池が主流になって行く。湖西市の企業は自動車部品加工工場が多い、電気自動車が主流になると従来の自動車と比べると部品点数が大幅に減少してくる、当然仕事量が減ってきます。今まで鉄板をプレス加工していた部品が、樹脂製品や炭素繊維つまりカーボンに変わっていきます。私も以前から仕事が少なくなるから早く手を打たなくてはと一般質問で何回もお聞きしていますがこれと言った対策も聞こえてきておらず、見えてきていません。今後湖西市はどうするのですか。
8. プライムアースEVエネルギー(株)の工場が新たに進出してきます。どの様な仕事があるかわかりませんが、少しでも湖西市の企業に仕事を出していただければと思うのですが、そのようなお願いはしているのでしょうか。そして今後の進め方はどの様にお考えですか。

# 一 般 質 問 通 告 書

平成 31 年 2 月 13 日

前  
午 9 時 48 分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成 31 年 2 月 13 日

湖西市議会議長 二橋 益良 様



湖西市議会議員

二橋 浩章 (前)

質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
1	社会に開かれた教育課程の実現について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	社会に開かれた教育課程の実現について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>グローバル化の進展、AI、ビッグデータ等を背景として、社会環境が変化する中で、産業界のニーズや地域の創意工夫を活かした人材育成の推進が求められている。学校教育においても新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の実現を図るべく、2020年度、学習指導要領の改訂が行われ、教科・科目等の新設や目標・内容の見直しが行われると聞いている。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>情報教育・ICT活用教育関係において、情報活用能力の育成を図るための考え方、カリキュラムや指導計画を確認するとともに、社会に開かれた教育課程の実現に向けた課題と方策を共有する。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 小学校プログラミング教育の手引(第2版)が刊行され、全国で多くの教育委員会がアクションを開始している。湖西市教育委員会における「カリキュラム・マネジメント」に基づいた「指導計画」「指導教材の選定」等の進捗と課題はどうか伺う。</p> <p>2. 小学校プログラミング教育に関する学習活動の分類(A～F)対応について湖西市教育委員会の考え方と対応と課題はどうか。また、ICT支援員等の活用の考えはあるか伺う。</p> <p>3. 社会に開かれた教育課程の実現に向け、人材や予算、時間、情報等のリソースをどの様にマネジメントを行い、「深い学び」に結び付けていくのか、評価の方法も併せて伺う。</p>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

### 第 3 章 プログラミングに関する学習活動の分類と指導の考え方

この章では、小学校段階におけるプログラミングに関する学習活動の分類と、分類に応じた指導の考え方を、各分類におけるプログラミングに関する学習活動の例（以下「指導例」とします。）を挙げながら解説します。

指導例を参考として、「プログラミング的思考」の育成、プログラミングのよさ等への「気付き」やコンピュータ等を上手に活用しようとする態度の育成を図ることが望まれます。さらに、各教科等の内容を指導する中で実施する場合には、これらに加え、それぞれの教科等の目標の実現を目指した指導に取り組むことが求められます。

プログラミング教育は、学習指導要領に例示した単元等はもちろんのこと、多様な教科・学年・単元等において取り入れることや、教育課程内において、各教科等とは別に取り入れることも可能であり、児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動を行う必要があります。この章に示す指導例を参考として、各学校において工夫して多様な場面で適切に取り入れていくことが望まれます。

さらに、プログラミング教育は教育課程外の様々な場面でも実施することが考えられます。図 5 にプログラミングに関する学習活動の分類の一例を示しました。これは、現在までに組み込まれた例を基に分類を試みたものであり、本手引では、教育課程内で実施される A～D 分類の指導例を示します。

図 5 小学校段階のプログラミングに関する学習活動の分類

- A 学習指導要領に例示されている単元等で実施するもの
- B 学習指導要領に例示されていないが、学習指導要領に示される各教科等の内容を指導する中で実施するもの
- C 教育課程内で各教科等とは別に実施するもの
- D クラブ活動など、特定の児童を対象として、教育課程内で実施するもの
- E 学校を会場とするが、教育課程外のもの
- F 学校外でのプログラミングの学習機会